

施策評価シート（令和４年度実績）

施策名 8 生涯を通じた主体的な健康づくりにつなげる

施策コード

020008

1. 施策の体系と担当課		
第5次総合計画	将来像	2 誰もが地域で健やかに ともに支え合うまち
主管課	健康福祉部 健康推進課	
関係課	健康福祉部 保険年金課	

2. 施策の目標	
10年後の目標	
妊娠・出産・乳幼児期から高齢期に至るまで、生涯を通じて切れ目のない相談体制が確保され、すべての市民に適切な生活習慣が浸透しており、自ら主体的に健康づくりに取り組んでいます。	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
○健康に対する市民の意識を高めるため、食事や運動、喫煙などの生活習慣の改善に向けた啓発を行います。 ○妊娠・出産から就学前までの健康づくりについて、切れ目のない支援に取り組みます。 ○がん検診や国保特定健診等について、開催日や実施場所の充実など受診しやすさを高めるとともに、幅広い機会を通じた受診勧奨により、受診率を向上し疾病の早期発見につなげます。 ○歯科健診に対する意識啓発をし、受診を勧奨します。 ○予防接種に関する医療情勢の変化に対応し、正しい情報提供を早期に行い、予防接種や医療に対する知識を普及します。 ○感染症予防に対する啓発をし、集団感染などの情報提供を迅速に行うことで、防疫体制の充実に図ります。	
市民・団体・事業所等の取組み	
○がん検診及び国保特定健診を積極的に受診します。 ○校区教室・市民講座などの研修会に積極的に参加し、健全な生活習慣、食習慣の知識を深め、実践します。 ○感染症の発生状況や予防手段についての情報を得ることで健康の維持に努めます。 ○食育の大切さを再認識し、栄養バランスのとれた食事の摂取に努めます。 ○公共性の高い施設や店舗等では、受動喫煙の健康被害防止に努めます。	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
令和４年の人口動態統計（概数）では、我が国の出生数は７７０，７４７人で過去最少となり前年より４０，８７５人減少した。また合計特殊出生率は１．２６と過去最低で前年より０．０５ポイントの低下となっている。死亡数は１，５６８，９６１人で過去最多、自然増減数は７９８，２１４人と過去最大の減少で、一段と少子化・人口減が加速している。疾病では、令和２年に国内で発した新型コロナウイルス感染症により、生活習慣病の基礎疾患がある者の重症化や、外出制限によるフレイルの増加が問題となっている。社会環境においては、行動制限の影響により、人とのつながりが希薄化する中で、子育て世帯において孤立化が進み、育児不安が増すことにより、安心して子どもを産み育てることができにくい状況となっている。	
新たな市民ニーズ	
妊産婦や子育て世帯を取り巻く環境の変化等を踏まえ、子育て支援の充実に加え、妊娠・出産に対する支援の充実に図るとともに、妊娠期・出産・子育て期に対する継続的支援を提供できる体制づくりが求められている。また、生活習慣病が招く様々な重症化を予防するため、特定健診・各種がん検診の受診率を向上させるべく、受診にあたっての利便の向上が求められている。	

4. 施策にかかるコスト			単位	R3予算	R3決算	R4予算	R4決算	R5予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		16.86		16.19	
		会計年度任用職員数			2.01		1.99	
	人件費	直接人件費	千円		108,325		104,440	
		間接人件費			20,692		9,038	
	直接事業費			561,382	423,724	852,809	897,564	611,833
	間接事業費				2,729		4,546	
	フルコスト				555,470		1,015,588	
財源内訳	使用料及び手数料	千円		885	802	1,193	792	1,063
	国庫支出金			25,275	14,641	22,796	13,321	26,920
	府支出金		65,339	63,708	71,080	77,338	77,305	
	市債							
	その他		2,704	176,303	2,704	198,377	2,350	
	一般財源 1（＝フルコスト－特定財源）					725,760		
	一般財源 2（＝直接事業費－特定財源）		467,179	168,270	755,036	607,736	504,195	
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		乳がん検診受診者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人	毎年度	2,500	増加	2,168	2,136	2,300	2,500
成果指標2		大腸がん検診受診者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人	毎年度	5,000	増加	4,139	4,630	5,000	5,000
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和4年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）						
健康づくり 啓発事業 （保険）	70歳未満加入者の循環器系疾患による入院に係る1人当たり診療費			17,085	19,625	22,157	22,085	成果	A：向上を図る	受診率の向上に向け、未受診者への受診勧奨方策についてさらなる工夫が必要である。
	R4実績	673	千円							
	最終目標値に対する達成率			1,400	2,338	2,006	0	資源配分	B：現状維持	
特定健康診 査等事業 （保険）	40歳～74歳の国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査を受けた人の割合（法定報告値見込み）			35,358	39,165	40,444	55,618	成果	簡易評価	
	R4実績	35.3	%							
	最終目標値に対する達成率			32,820	30,753	26,813	0	資源配分		
保健事業 （健推）	健康手帳交付数、ハツラツ健診・さわやか健診・健康相談・健康教育の参加・受診者数・ウィッグ補助申請数			2,870	2,752	2,759	3,160	成果	A：向上を図る	参加者・受診者数の増加に向け、健康教室や健康相談を充実させるとともに、市民の健康意識を高める必要がある。
	R4実績	2,522	人							
	最終目標値に対する達成率			2,740	660	3,351	0	資源配分	B：現状維持	
健康づくり 事業 （健推）	健康づくり関係行事参加者数			2,223	1,666	813	1,749	成果	A：向上を図る	市民一人ひとりが主体となって進める健康づくりが推進されるよう、地域・関係団体と引き続き連携して取り組む必要がある。
	R4実績	145	人							
	最終目標値に対する達成率			3,640	3,195	4,187	0	資源配分	B：現状維持	
母子健康管 理事業 （健推）	妊婦・乳児健診受診者の合計			69,858	73,172	66,486	83,521	成果	A：向上を図る	貝塚版ネウボラの基本となる事業で、適切な支援を実施できるよう、関係機関との連携を密にするとともに、職員のスキルアップを図る必要がある。
	R4実績	8,581	人							
	最終目標値に対する達成率			14,020	10,950	10,203	0	資源配分	B：現状維持	
母子健全育 成事業 （健推）	各種教室等参加者数及び家庭訪問のべ人数			24,567	20,811	17,537	24,768	成果	A：向上を図る	育児支援の根幹を成す事業であり、さらなる充実を図る必要がある。
	R4実績	1,772	人							
	最終目標値に対する達成率			21,246	14,300	16,068	0	資源配分	B：現状維持	
栄養改善事 業 （健推）	事業活動参加会員のべ人数			551	83	239	358	成果	A：向上を図る	食生活改善推進協議会の活動を支援し、地域における食育活動のさらなる推進を図る必要がある。
	R4実績	388	人							
	最終目標値に対する達成率			1,583	2,309	2,072	0	資源配分	B：現状維持	
予防接種事 業 （健推）	予防接種の接種者総数			228,380	184,300	216,562	250,631	成果	A：向上を図る	接種率の向上に向けて、接種によるメリット・デメリットを含め、丁寧に周知啓発を図る必要がある。
	R4実績	22,821	人							
	最終目標値に対する達成率			21,342	12,026	11,185	0	資源配分	B：現状維持	

各種検診等 予防事業 (健推)	各種検診等受診者数			68,789	72,208	76,847	95,164	成果	A：向上を図る	市民の健康寿命の延伸を図るべく、各種検診の受診率の向上を図る必要がある。
	R4実績	18,035	人							
	最終目標値に対する達成率	90.1%		13,792	8,592	7,215	0	資源 配分	A：資源を拡大	
狂犬病予防 事業 (健推)	狂犬病予防接種件数			925	963	951	1,063	成果	A：向上を図る	狂犬病予防注射の接種率の向上に向け、市民への啓発を行うとともに、接種にあたっての利便性の向上を図る必要がある。
	R4実績	3,261	頭							
	最終目標値に対する達成率	108.7%		3,628	2,821	3,876	0	資源 配分	B：現状維持	
歯科疾病予 防事業 (健推)	歯科健診受診者・各教室参加者数			1,708	2,006	2,088	0	成果	A：向上を図る	市民の生活の質の向上に向け、効率的・効果的な受診勧奨を行う必要がある。
	R4実績	1,789	人							
	最終目標値に対する達成率	63.8%		1,829	337	352	0	資源 配分	B：現状維持	
がん検診推 進事業 (健推)	検診受診者数			6,662	6,973	6,863	9,709	成果	A：向上を図る	さらなる受診率の向上に向け、引き続き、対策を講じる必要がある。
	R4実績	183	人							
	最終目標値に対する達成率	61.0%		4,488	1,917	3,903	0	資源 配分	A：資源を拡大	
新型コロナ ウイルスワ クチン接種 事業 (健推)				0	0	387,108	6,880	成果	評価対象外	
	R4実績									
	最終目標値に対する達成率			0	38,029	13,779	0	資源 配分		
産後ケア事 業 (健推)	利用施設数			0	0	1,023	2,025	成果	A：向上を図る	母子の健康と子どもの健やかな成長につながるよう、より利用しやすいものとする必要がある。
	R4実績	6	箇所							
	最終目標値に対する達成率	-		0	790	2,382	0	資源 配分	A：資源を拡大	
出産・子育て 併走型相 談・経済支 援事業 (健推)	伴走型相談支援実施数(妊娠届け出時面接数、妊産婦全戸訪問実施数)			0	0	55,687	55,102	成果	B：現状維持	核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる必要がある。
	R4実績	210	人							
	最終目標値に対する達成率	-		0	0	6,086	0	資源 配分	C：縮小や統合を検討	

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	特定健診・特定保健指導・がん検診は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、指標達成に至らない年度もあったが概ね順調である。母子事業に関しては個別支援を中心に、きめ細かなサポート体制のもと事業展開できている。
構成事務事業に課題はないか	令和6年度に向け、機構改革の中で事務事業の変更を予定している。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	市民が生涯にわたり健康で生き生きと幸せに暮らせるよう、検診の充実を図るとともに、健康の維持・増進に向けた意識啓発をはじめ、市民の自発的な健康づくり運動を推進する。また、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる体制を整備する。
担当副市長の意見	健康増進分野と母子保健分野の取り組みをより効果的に推進するための体制整備を行い、妊娠・出産・乳幼児期から高齢期に至るまで、生涯を通じて切れ目のない相談体制が確保され、すべての市民が自ら主体的に健康づくりに取り組めるよう事業を進めていく。